

働きたい・自分に出来る仕事を見つけたい若者に届けたい!



# いちサポ通信

いちのせき若者サポートステーション (運営: NPO法人レスパイトハウス・ハンズ)  
〒021-0881 岩手県一関市大町 4-29 なのはなプラザ 4階

サポステ 厚生労働省  
平成31年2月1日  
いちサポ通信第66号 地域若者サポートステーション事業

就職についてのご相談をお待ちしております!

0191-48-4467  
受付時間 10時~17時

平成31年2月までの実績 (1月20日現在)

いちサポ

- 登録者・・・87名 (うち平成30年度新規54名)
- 就職決定者・・・22名 (平成30年4月より)
- 今月の就職決定者・0名 (12月20日~1月20日)

## 自立って何? セミナー

報告 ◆日時: 1/10 (木) 13:30-15:30 ◆参加者: 12名  
◆テーマ「自立って何?」 ◆講師: 阿部直樹さん (そらをみた会)



「自立するってどういうこと?」をテーマに、なのはなプラザにて開催。  
参加者の多くが「自立について今まで持っていたイメージや考え方が変わりました」と振り返ります。  
90分間の講義では、脳性まひの障がいを持つ熊谷晋一郎さんの体験や、メンタルヘルスアドバイザーの市来真彦さんの言葉を引用しながら、「自立するとはどういうことなのか?」について解説。  
「障がいを持っている人は、いろいろなものに頼らないといけないというイメージがある。しかし実は健常者と言われる人たちが様々なものに依存出来ていて、障がいを持っている人は、限られたもの

しか依存できていないのです」と阿部先生。「この講義室の机やイスや床だって、誰かが作ったものです。いかに自分が多くの存在に依存しているかを知ること、そして、自力でできる分を実践することが大切です。他の人の力に依存すべき部分は、頼り、または受け入れ、感謝すること」と、自立について解説。

参加したKさんは、「今までは、なるべく誰の力も借りずに生きることが自立だと思っていました。自分で出来る分というのは、どこまでなのか、ただの甘えとの違いはどこなのかなど、これからさらに深めていきたい」と語ります。

また、Sさんは「自立と依存という言葉は、親子関係に限定された言葉だと思っていた。しかし社会に出て生活する中でも、自立と依存という言葉があるんだなぁと気づいた。自分自身が人や物に頼ること、そしてそのことに感謝をすることで、自分自身が生きやすくなるんだなぁと実感。ありがとうございました」と振り返ります。

## 保護者のつどい (第4回目)

報告 ◆日時: 12/22 (土) 14:00-16:30 ◆参加者: 10名  
◆テーマ「わが子の思いと親の思いをどう整理していくか」 ◆講師: 阿部直樹さん (そらをみた会)

今年度4回目となる保護者のつどいは、なのはなプラザ4階の会議室にて開催。前半の講義では、「機能分析」に視点を当てた、具体的な接し方の方法に触れ、「子どもたちはどんな気持ちを持っているのか」を解説。「分かってくれたんだ! という気持ちを持ってもらうためには、どんなことが必要なのか」について学びました。

後半の意見交換会では、実際の場面での質問や、意見などが出されました。参加したIさんは、「今の接し方でまずまず悪くはないんだなぁと思えました。要件は伝えたいことを短く、ということを中心に掛けたいです」と振り返ります。次回の保護者のつどいは2月23日。「わが子に寄り添うには」をテーマに開催予定です。

## コミュニケーションセミナー

報告 ◆日時: 1/11 (金) 13:30-15:30 ◆参加者: 10名  
◆テーマ「働くってどういうこと?」 ◆講師: 熱海アイ子さん (ゆうの会)

仕事をするうえで避けては通れない「コミュニケーション」。いちサポでは、「コミュニケーション」に視点を当てたセミナーを定期的に開催しています。

今回は「働く」ということをテーマに、実際にチームで「ペーパータワーをつくる」という仕事を体験し、仕事をする意味や、その時に起こりうる状況や、その状況下で自分は何ができるかを考えるワークショップを実施。

「そのアイデア、いいね!」「いい感じで進んでるね!」「こうしてみたらどうかな?」などの声掛けや提案をしたり、あるいは状況を冷静に客観的に見ることで、場がヒートアップするのを制止する役目の人も。

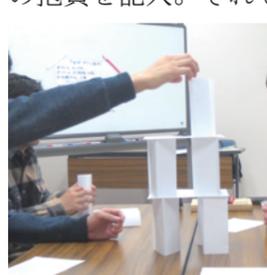
最後に「このひとのいいところを見つけよう」というワークで、お互いの良かったところを共有。普段他人から褒められるという経験は誰でも少ないもの。照れたり、考えたりしながら、どのひともチームのメンバーの言葉に聞き入っていました。

参加したHさんは「相手の良いところを見つけ、自分もそうなるように頑張りたい」と目を輝かせます。



コミュニケーションセミナーは今年度6回開催。それぞれにテーマを設定し、「夢を語ろう」「人間関係をよくするためのアサーションスキル」など、ニーズに基づいた適切な支援につなげています。

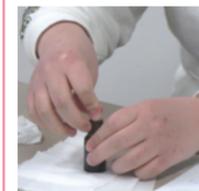
セミナーの最後に「今年はやるぞ!シート」に今年の抱負を記入。それぞれが決意を新たに会場を後にしました。シートには「仕事に就く!」「余計なことを考えずに進む」「自分ができる仕事を見つける」「働くぞ!」など、シンプルな中に強い意志を感じるメッセージが。いちサポでも全力で支援を続けていきます。



## 2月の支援プログラム

04日(月)	古本ボラ	16日(土)	サポカフェ
05日(火)-08日(金)	JOB体験(一関図書館)	20日(水)	おうしゅうルーム
06日(水)	おうしゅうルーム	20日(水)	おおふなとルーム
06日(水)	おおふなとルーム	21日(木)	スポーツウェルネス吹矢④
07日(木)	スポーツウェルネス吹矢②	23日(土)	保護者のつどい
12日(火)	就労専門家相談	26日(火)	こころの相談
13日(水)	千厩巡回相談	27日(水)	はじめの1歩プログラム
13日(水)	ホンキ1DAYセミナー	28日(木)	スポーツウェルネス吹矢⑤
14日(木)	スポーツウェルネス吹矢③		

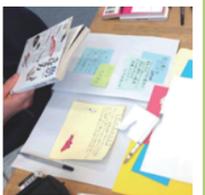
### 報告 おうしゅうルーム



12月のおうしゅうルームには、新規登録者を含む7名が参加。午前中に開催した「アロマセラピー講座」では、精油の性質や特徴などについて学習し、実際に香りかいで気に入った精油を選択。1~2種類をブレンドし、クラフトを作成しました。参加したSさんは「リラックスしたいときに使いたい」と語ります。

### 報告 おおふなとルーム

12月のおおふなとルームでは、市立図書館でのJOB体験を実施。参加者は4名で、仕事の体験の内容は、「自分の好きな本の紹介をする為のPOP作成」でした。今回作成した本のPOPは、1月中旬まで使用され、本の紹介がされます。各々個性のあるPOPが出来、ほかの人の物を見て学びもあったようです。



## ホンキの就職1DAYセミナー

報告 ◆日時: 12/27 (木) 13:00-16:00 ◆参加者: 10名  
◆テーマ「面接の自己PRに必要な自分と企業との接点を見つけよう」

苦手意識を持っている方が多い「面接」。いちサポでは、就職活動で避けては通れない「面接」で活用できる「自己PR」の作り方についてのセミナーを開催しています。今年度最後となるセミナーはなのはなプラザで開催されました。

当日は、「就職活動の3つの課題」に視点を当て、「行動量」「難易度把握」「接点」の3つについて、その具体的な問題点と課題の解決方法について学習。その中から「企業と自分との接点を見つける」大切さを体感。

後半の面接練習では、実際に3人組になって「自己PR」のロールプレイを実施。参加したMさんは「セミナーに参加をして、自分の面接の改善点がわかりました」と振り返ります。



いちサポでは、就職が決まった利用者さんが気持ちよく働き続けられるようなサポートとして、卒業生の交流会である「サポカフェ」を月に1度開催しています。

支援プログラム等の詳しい情報はホームページまたは事務所掲示板をご覧ください。右のQRコードからアクセスできます。



今年度も残すところあとわずかとなりました。いつもいちのせき若者サポートステーションの支援へのご理解とご協力を頂きまして、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。